

令和5年度 第2回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会  
【概要・要旨】

令和5年度 秋田県埋蔵文化財センター運営協議会概要

名 称	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
設置根拠	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会規定
設置目的	秋田埋蔵文化財センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため
委員構成	委員長1名 副委員長1名 委員8名 計10名（うち女性委員2名） ※ 定数10名以内
委員任期	2年間：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで
第2回	令和6年2月5日 14:00～16:00 埋蔵文化財センター第1研修室

# 令和5年度 第2回秋田県埋蔵文化財センター一運営協議会 要旨

1 日 時：令和6年2月5日(月) 14:00～16:00

2 場 所：秋田県埋蔵文化財センター 第1研修室

## 3 出席者

委員：7名

小松 正夫 委員長 (前秋田考古学協会会長)  
栗林 靖雄 副委員長 (美郷町立六郷小学校校長)  
大阪 瑞穂 委員 (南教育事務所仙北出張所所長)  
小坂 靖尚 委員 (横手市立浅舞小学校校長)  
佐々木淳一 委員 (柵の案内人 大仙市ほたるの会会員)  
星野 友実 委員 (大仙市立高梨小学校校長)  
渡部 育子 委員 (国立大学法人秋田大学名誉教授)

事務局：7名

磯村 亨 所長 (兼 払田柵跡調査事務所長)  
大泉 真 副所長  
吉川耕太郎 副主幹 (兼) 調査班長  
村上 義直 主任文化財専門員 (兼) 中央調査班長  
新海 和広 副主幹 (兼) 資料管理活用班長  
谷地 薫 (兼) 文化財主査 (本務 払田柵跡調査事務所調査班長)  
堀川 昌英 学芸主事

※欠席者：4名

北野 悟 委員 (仙北地域振興局総務企画部地域企画課課長)  
武藤 浩紀 委員 (美郷町立千畑小学校校長)  
山崎 裕子 委員 (山崎ダイカスト株式会社取締役管理部長)  
鈴木菜穂子 副主幹 (兼) 総務班長 (兼 払田柵跡調査事務所副主幹)

## 4 協議内容

- (1) 令和5年度事業報告
  - ①令和5年度 事業報告 (調査関係)
  - ②令和5年度 事業報告 (活用・普及関係)
- (2) 第1回運営協議会における提言と対応について
- (3) 令和6年度事業計画
  - ①令和6年度事業計画案 (調査関係)
  - ②令和6年度事業計画案 (活用・普及関係)
  - ③令和6年度事業等についての提言

## 5 委員からの御意見・御提言(抜粋)

- ・今年度の企画コーナー展「埋文職員の自由研究」を見学したが、考古学の専門ではない人にもわかりやすく学術的価値を説明していた。来年度も発掘調査などをおとして、埋蔵文化財センター職員の研究を続けてほしい。
- ・Facebookにはその時々のお出来事を掲載しており、興味を引くものもある。事業を実施したときにホームページに活動の様子が掲載されると子どもたちには喜ばれると思う。
- ・企画展は非常に充実していた。説明部分と展示品が一致していた。
- ・企画展のパンフレットはストーリー性があり、読み応えがあった。写真もあり説明もわかりやすい。電子化してホームページで公開することを検討してほしい。
- ・中堅教諭等資質向上研修の研修先として、今後もよろしくお願ひしたい。
- ・紙媒体とデジタルデータの使い分けについて考える。
  - ・デジタルデータとしてホームページに上げ、ニーズに応じて利用してもらうなど内容に応じた使い分け。
  - ・QRコードを活用するなどの工夫。
  - ・考古学を含めた歴史学では、紙媒体でなければ取り上げてもらえないものもあることに注意。
- ・県同士の機関連携のほかに、市町村の生涯学習課や文化財担当課と連携することによって、活用・普及が一層図られる部分があるのではないか。
- ・払田柵跡の入門書のようなものや初心者でも分かるような仕掛けのようなものがあると、次第に多くの人に広がっていくのではないかと。
- ・「ミズモの郷キャリアスクール」の子どもたちに来年度も協力をお願ひしたい。
- ・子どもを対象としたような事業でさらに力を入れてほしい。学校の方でも埋蔵文化財センターを十分に活用してほしい。
- ・子どもたちに実体験をたくさんさせてくれる施設であり続けてほしい。

## 6 センターより

- ・委員の皆様からいただいた御意見や御提言等を整理してこのあとの事業にいかしたい。また、これまで埋蔵文化財センター実施してきたものを継続していいことと、新しく実施していかなければならないことをお出しいただいたので、このあと検討していきたい。